

第 10 章 招致推進活動経費の内訳

第10章 招致推進活動経費の内訳

第1節 招致推進活動経費の概要

本章では、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会招致に要した「オリンピック・パラリンピック招致推進活動経費」について、その内訳を示す。

オリンピック・パラリンピック招致推進活動経費は、立候補ファイルの策定等にかかる経費、国際招致活動にかかる経費、招致気運醸成等にかかる経費からなる。

その対象期間は、東京が国内立候補都市に決定された後の平成23（2011）年9月から、開催都市が決定した平成25（2013）年9月までの約2年間としている。

上記の事業費に対する東京都の負担については、2年間で招致活動経費37億円とし、平成24年度予算20億円の計上が認められた。

招致活動の結果、最終的に招致活動に要した経費の総額は約89億円となり、東京都の支出は予定の範囲内の約35億円となり、招致委員会は約54億円を寄付金等収入の範囲内で、支出を行った。

その内訳は、立候補ファイルの策定等にかかる経費が約10億円、国際招致活動にかかる経費が約41億円、招致気運醸成等に係る経費が約38億円であった。

招致活動における年度別・事業別の経費内訳については、次節以降に示す。

■オリンピック・パラリンピック招致推進活動経費

（平成23年9月から平成25年9月まで）

区分		東京都実施分		招致委員会実施分	
立候補ファイルの策定等	10億円	計画案の作成等	10億円	—	—
国際招致活動	41億円	海外PR活動、IOC評価委員会対応等	20億円	プロモーション活動等	21億円
招致気運醸成等	38億円	各種広報PR等	5億円	全国キャンペーン等	33億円
合計	89億円	35億円		54億円	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

第2節 招致推進活動経費総括表（主要事項別・年度別）

本表は、招致推進活動経費全体について、主要事項別・年度別の支出金額を示した総括表である。（各年度のより詳細な内訳については、次節に記載）

（単位：百万円）

	23年度 決算A	24年度 決算B	25年度 決算C	合計 A+B+C
立候補ファイルの策定等	313	733	—	1,046
東京都	313	723	—	1,036
立候補手続	13	50	—	63
申請ファイル策定	284	—	—	284
立候補ファイル策定	16	673	—	689
招致委員会	—	9	—	9
立候補ファイル策定等	—	9	—	9
国際招致活動	82	1,420	2,596	4,098
東京都	—	991	963	1,953
IOC評価委員会対応	—	745	—	745
スポーツアコード	—	—	28	28
ANOC総会	—	—	11	11
テクニカルブリーフィング	—	—	85	85
IOC総会	—	—	128	128
海外PR活動	—	246	106	351
プレゼンテーション	—	—	605	605
招致委員会	82	430	1,633	2,145
海外PR活動	82	430	1,230	1,742
IOC総会	—	—	403	403
招致気運醸成等	92	1,387	2,225	3,705
東京都	23	307	136	466
管理運営費等	15	47	20	83
招致グッズ作成・設置等	3	45	22	71
都内イベント等	3	24	42	69
各種広報PR	2	191	52	244
招致委員会	69	1,079	2,090	3,238
管理運営費等	17	397	1,356	1,769
イベント等	13	141	68	221
国内外広報	40	542	666	1,248
合計	488	3,540	4,821	8,849
東京都	336	2,021	1,098	3,456
招致委員会	151	1,519	3,723	5,393

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

第3節 年度別経費内訳表

本節では、東京都・招致委員会それぞれの、各年度における支出内訳を記載する。前節の総括表における区分及び金額は、各表の区分及び金額と対応している。

(例：申請ファイル策定 23年度内訳 283,532千円＝総括表 284百万円)

1 東京都

(1) 平成23年度(平成23年9月～24年3月)

9月にIOCに立候補申請の通知を行うなど、申請都市として本格的な招致活動の段階に入った。

事業内容としては、申請ファイル(2月にIOCへ提出)の策定のための各種業務委託のほか、立候補ファイル作成に向け準備を進めた。

(単位：千円)

事業名	決算額	備考
立候補ファイルの策定等	313,307	
立候補手続	13,472	
申請都市手数料	11,690	IOCに対する150,000US\$の申請都市手数料
海外出張旅費等	1,783	申請ファイル提出等
申請ファイル策定	283,532	
申請ファイル策定	277,357	各種調査(施設計画・宿泊計画等)を含む
競技大会視察等	6,175	IOC申請都市セミナー等
立候補ファイル策定	16,303	
立候補ファイル策定	16,303	各種調査(セキュリティ対策等)
招致気運醸成等	23,036	
管理運営費等	15,452	
管理運営費等	15,452	国内出張旅費、資料翻訳等
招致グッズ作成・設置等	3,045	
招致グッズ作成・設置等	3,045	ピンバッジ作成
都内イベント等	2,951	
都内イベント等	2,951	東京大マラソン祭りブース運営
各種広報PR	1,587	
広報PR関係	1,587	プロシヤー印刷等
合計	336,342	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

(2) 平成24年度（平成24年4月～25年3月）

5月に立候補都市に選定されて以降、前年度と比較してさらに招致活動の場面は広がった。

事業内容としては、立候補ファイル（1月にIOCへ提出）の策定に向けた各種業務委託のほか、8～9月のロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会開催時に国内外で招致PRを行うとともに、IFの同意書取得に向けた計画説明等の活動を行った。

年度後半には、立候補ファイルの策定と並行して、平成25（2013）年3月のIOC評価委員会訪問に向けた計画案・プレゼンテーション映像の製作等の準備を行うとともに、IOCの世論調査等を想定して各種の招致気運盛り上げ・広報活動を行った。

（単位：千円）

事業名	決算額	備考
立候補ファイルの策定等	723,137	
立候補手続	50,019	
立候補都市手数料	40,280	IOCに対する500,000US\$の立候補都市手数料
海外出張旅費等	9,739	立候補ファイル提出、ロンドン記者会見等
立候補ファイル策定	673,118	
立候補ファイル策定	661,373	各種調査・施設関連基本計画・立候補ファイル印刷等
IF現地調査	11,745	国際競技団体視察受入
国際招致活動	990,568	
IOC評価委員会対応	745,041	
全体計画・プレゼン・会場視察等	745,041	全体計画・プレゼン・会場視察等
海外PR活動	245,527	
ロンドンオリンピック・パラリンピック	111,023	ロンドンオリンピック・ジャパンハウス運営、海外出張旅費等
国際会議等	6,768	ロンドン2012デブリーフィング出張等
海外メディア配信	127,737	海外メディア配信
招致気運醸成等	307,369	
管理運営費等	47,087	
管理運営費等	47,087	国内旅費、資料翻訳等
招致グッズ作成・設置等	45,138	
招致グッズ作成・設置等	45,138	ピンバッジ作成等
都内イベント等	24,098	
都内イベント等	24,098	Cheer!NIPPON等
各種広報PR	191,046	
広報PR関係	13,890	ポスター作成等
シティー装飾等	177,156	街路フラッグ・大型バナー等
合計	2,021,075	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

(3) 平成25年度（平成25年4月～9月）

招致活動の最終年度は9月7日までの半年間であったが、招致活動において重要なIOCの公式スケジュールが連続した。

5月にはサンクトペテルブルグにてスポーツアコード会議、6月にはローザンヌにてANOC総会、7月にはローザンヌにてテクニカル・ブリーフィング、そして9月にはブエノスアイレスにてIOC総会が開催された。

各公式イベントにおいてIOC委員に対して十分に訴求するためのプレゼンテーション映像の製作等を行うとともに、大学連携事業や開催都市決定に向けた出陣式等の広報活動も集中的に行った。

(単位：千円)

事業名	決算額	備考
国際招致活動	962,554	
スポーツアコード	28,389	
ブース運営等	19,025	ブース運営業務委託等
海外出張旅費等	9,365	
ANOC総会	10,945	
事務局運営等	9,862	事務局運営等業務委託
海外出張旅費等	1,083	
テクニカルブリーフィング	85,375	
ブース運営等	77,886	ブース運営業務委託等
海外出張旅費等	7,489	
IOC総会	127,608	
事務局運営等	94,285	事務局運営等業務委託
海外出張旅費等	33,323	
海外PR活動	105,509	
世界水泳・世界陸上	25,242	世界水泳ブース運営業務委託、海外出張旅費等
国際会議等	8,100	海外出張旅費等
海外メディア配信	72,167	海外メディア配信
プレゼンテーション	604,727	
スポーツアコード、ANOC、テクニカルブリーフィング、IOC総会	604,727	国際プロモーション実施業務委託
招致気運醸成等	135,805	
管理運営費等	20,288	
管理運営費等	20,288	国内旅費、資料翻訳等
招致グッズ作成・設置等	22,342	
招致グッズ作成・設置等	22,342	ピンバッジ作成等
都内イベント等	41,526	
都内イベント等	41,526	開催都市決定を迎える会等
各種広報PR	51,650	
広報PR関係	1,480	ポスター作成等
シティー装飾等	50,169	シティー装飾撤去・メンテナンス等
合計	1,098,359	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会

(1) 平成 23 年度（平成 23 年 9 月～24 年 3 月）

9月にIOCに立候補申請の通知を行うなど、申請都市として国内部門、国際部門とも活動を本格化させていった。

国内での招致機運の盛り上げについては、ロゴや申請ファイルの発表に併せ、記者会見を行う等、東京が招致活動を開始したことを訴える取り組みを行った。併せて、東京マラソン EXPO 等のイベントにブースを展開しグッズを配るなど着実な活動を行った。

国際招致活動が解禁される以前の段階であるため、国際部門ではIOCの説明会の参加や国際招致活動に関する情報収集、戦略の検討等をIOCが定める行動規範の範囲内で行った。

平成 23 年度に収入は計上していないが、その確保のため寄付金募集や協賛金確保に関し関係者に依頼を行うなど、様々な努力を行った。

(単位：千円)

事業名	決算額	備考
国際招致活動	81,981	
海外PR活動	81,981	
海外コンサルタント	46,547	国際招致活動に関する海外コンサルタント
その他国際招致活動	35,434	IOC説明会等における情報収集等
招致機運醸成等	69,349	
管理運営費	16,987	
人件費・総務費	16,987	
手数料・税・その他	—	
イベント等	12,553	
グッズの作成	9,039	ピンバッジなど広報用グッズの作成
各種イベント等	3,514	東京マラソンEXPO等イベントへの参加とブースの展示
国内外広報	39,809	
ホームページ運営	5,936	公式ホームページの制作、更新、メンテナンス
広報コンサルタント	8,160	国内外の広報に関する広報コンサルタント
申請ファイル記者会見	6,495	申請ファイル発表に併せて活動を広報
その他広報	19,218	
合計	151,329	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

(2) 平成24年度（平成24年4月～25年3月）

5月にマドリッド、イスタンブールとともに立候補都市に選定され、前年度と比較しさらに招致活動の場面は広がった。

国内の機運の盛り上げについては、1月と見込んでいたIOCの支持率調査を念頭に置いて活動を行った。その中で8月のロンドンオリンピック・メダリストによる銀座のパレードやメダリストを使ったテレビのCM等は効果が大きかった。また、オールジャパン体制の下、東商や特別区等の関係団体のイベントで招致のPRが行われ、グッズの配布等により機運醸成が行われた。

国際プロモーションが許されたロンドンオリンピック競技大会では、ジャパンハウスを中心に活動し、多くのIOC委員や国際スポーツ関係者に東京開催の意義を訴えた。また、国際招致活動が解禁のされた直後には立候補ファイル等についてロンドンで記者会見を行うとともに、国際スポーツ大会や国際会議等において東京開催のPRと情報収集を行った。さらに、3月には評価委員会が来日し、国内外のプレスへの対応や国際招致活動を展開した。

(単位：千円)

事業名	決算額	備考
立候補ファイルの策定など	9,401	
立候補ファイルの策定	9,401	
ファイル策定支援	9,401	国際競技団体との調整結果などを立候補ファイルに活用
国際招致活動	429,795	
海外PR活動	429,795	
海外コンサルタント	124,881	国際招致活動に関する海外コンサルタント
ロンドンオリンピック	41,252	JOCが設けたジャパンハウスを中心に行ったプロモーション
評価委員会対応	10,569	評価委員会での対応
その他海外PR	253,093	国際会議などにおける情報収集等
招致機運醸成等	1,079,450	
管理運営費	396,717	
人件費・総務費等	116,216	
手数料・税・その他	280,501	顧問手数料をはじめ各種手数料
イベント等	140,508	
メダリストパレード	12,000	オリンピックメダリストによる銀座のパレード。JOCと共催
グッズの作成	99,829	ピンバッジなど広報用グッズの作成
各種イベント等	28,678	開催都市決定1年前イベント等への参加とブースの展示
国内外広報	542,225	
国内TV新聞等	166,078	招致機運醸成のための新聞広告やテレビCM等
ホームページ運営	41,017	公式ホームページの制作、更新、メンテナンス
ポスター・パンフレット等	53,220	広報ポスター、説明用パンフレット、のぼりばた等
広報コンサルタント	53,013	国内外の広報に関する広報コンサルタント
その他広報	228,898	
合計	1,518,647	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

(3) 平成 25 年度（平成 25 年 4 月～9 月）

招致活動は9月7日までの5か月余であったが、招致活動の終盤で重要な国際会議やイベントが目白押しだった。

国内では、前年度に引き続き、関係団体と連携しグッズの活用などにより盛り上げを実施した。開催都市が決定の日は、東商と連携しイベントを行い、招致期間最後の国内盛り上げを行った。

国際プロモーションは、スポーツアコードや ANOC 等の会議で重層的に国際招致活動を展開するとともに、世界陸上や世界水泳等国际大会に集まる IOC 委員や国際スポーツ関係者に東京に支持を訴えた。こうした取り組みについては、スポーツ界だけでなく政府、東京都、政界、経済界等が一丸となりオールジャパンの体制で進めた。また、招致レースが厳しさを増す中、海外でのテレビや雑誌、インターネットなどを活用し、グローバルに効果的な PR を行った。

(単位：千円)

事業名	決算額	備考
国際招致活動	1,633,240	
海外PR活動	1,633,240	
海外コンサルタント	614,589	国際招致活動に関する海外コンサルタント
IOC総会	403,398	IOC総会への出張及び活動費用
その他海外PR	615,252	国際会議、国際大会でのPR活動
招致機運醸成等	2,089,660	
管理運営費	1,355,633	
人件費・総務費	839,103	
手数料・税・その他	516,530	顧問手数料をはじめ各種手数料
イベント等	67,925	
開催都市決定を迎える会	6,888	IOC総会を各団体代表者等と見守るイベント。東商と共催
グッズの作成	18,003	ピンバッジなど広報用グッズの作成
各種イベント等	43,033	開催都市決定100日前イベント等への参加とブースの展示
国内外広報	666,102	
国内TV新聞等	106,500	招致機運醸成のための新聞広告やテレビCM等
ホームページ運営	29,272	公式ホームページの制作、更新、メンテナンス
ポスター・パンフレット等	4,049	広報ポスター、説明用パンフレット、のぼりばた等
海外TV雑誌等	253,494	海外のスポーツ雑誌の広告やテレビCM等
広報コンサルタント	14,369	国内外の広報に関する広報コンサルタント
その他広報	258,417	
合計	3,722,899	

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

第4節 招致委員会の収支

招致委員会の招致活動経費に充てる収入は、それらを民間の資金で調達することとしていた。

民間資金調達は主として、各界各層から幅広く募った寄付金と、招致ロゴの使用権を有するオフィシャルパートナーからの協賛金となっている。

寄付金の柱は、経済界からの支援であり、とりわけ財界募金として財団法人スポーツ振興資金財団の協力により、業界団体、個別企業等から合計14.3億円を超える収入を得た。そのほかにも広く個人、法人からの寄付を得た。

協賛金については、大手広告代理店を通じて、オフィシャルパートナーとして21社と契約を締結した。オフィシャルパートナーからは、協賛金と併せて寄付金も受け入れた。

招致委員会の収支は、招致経費のほかに、前回招致の借入金の返済、報告書の作成や関係者へのお礼等招致活動に関する残務処理、無体財産を含む組織委員会への寄付等を行い、均衡する見込みである。

招致委員会の収支内訳（見込み）

（単位：千円）

項目	金額
寄付金	4,890,987
（うち財界募金）	1,434,870
協賛金	723,325
助成金	909,966
その他民間収入	5,816
収入合計	6,530,094
招致活動経費	5,392,875
招致活動資産取得支出	17,808
借入金返済	752,500
残務処理・寄付等	366,911
支出合計	6,530,094
収支	0

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

